

青山台留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和5年度）

1 育成室の概要

（1）児童数・教室数（令和6年3月1日時点）

児童数71人（うち配慮を要する児童3人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	2教室
	24人	20人	15人	12人	0人	

（2）受託事業者

社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

（契約期間：平成31年4月～令和6年3月）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に貢献している。
- ②保護者アンケートの「子どもは、育成室に行くのは楽しいと言っている。」「子どもは、育成室の活動や行事を楽しみにしている。」の設問で、「そう思う・少しそう思う」の回答が合わせて約98%であり非常に高い割合である。
- ③夏休みの活動として、落語家を招いた落語教室や腹話術を企画するなど、児童の興味や関心に着目した取組を行っている。
- ④各クラス担任の個性を生かしつつも、クラス間でルール等に差が出ないように、職員の体制や配置、クラス間での職員の連携、情報共有などにおいてより一層の工夫が求められる。